## **PRESS RELEASE** (2017/1/20)



北海道大学総務企画部広報課

〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目 TEL 011-706-2610 FAX 011-706-2092

E-mail: kouhou@jimu.hokudai.ac.jp URL: http://www.hokudai.ac.jp

# 学術講演会「持続可能な世界にむけて、国連が採択した目標(SDGs) に貢献する北海道の知」の開催について(お知らせ)

開催概要:2月11日(土・祝)13時30分から,北海道大学学術交流会館小講堂において,学術講演会「持続可能な世界にむけて,国連が採択した目標(SDGs)に貢献する北海道の知」を開催します。

#### 開催趣旨:

2015 年 9 月, 2030 年に向けた地球を守るための持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals;以下,「SDGs」)が国連総会において採択されました。北海道大学をはじめとする北海道地区の高等教育機関においても、北海道内のみならず、世界各地の発展途上国で SDGs の教育研究活動を行っています。

SDGs は、17 の開発目標のもとに、具体的な 169 のターゲットを掲げており、それらには、発展途上国のみならず、先進国における諸課題を解決することを掲げています。日本(特に北海道)が世界に先駆けて直面する、少子高齢化問題等も先進国が抱える SDGs の課題です。

本講演会では SDGs の概要, SDGs への貢献として北海道地区の高等教育機関が行っている世界各地及び道内での活動状況を紹介し、地球を守るための持続可能な開発について考えていただく機会とします。

**日程**: 平成 29 年 2 月 11 日 (土・祝) 13 時 30 分~17 時 00 分

場所:北海道大学学術交流会館小講堂(札幌市北区北8条西5丁目)

主催:日本学術会議北海道地区会議, 北海道大学

**参加対象**:講演内容に関心のある方はどなたでも参加可能です。

参加費:無料 言語:日本語

### プログラム:

司会:山中 康裕 (日本学術会議連携会員, 北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

13:30~13:35 挨拶

上田 一郎 (日本学術会議会員,日本学術会議北海道地区会議代表幹事,北海道大学理事·副学長)

13:35~14:10 講演「SDGs と日本学術会議-貧困・平等, FE, 防災・減災をめぐって」

大西 隆 (日本学術会議会長, 豊橋技術科学大学学長, 東京大学名誉教授)

14:10~14:40 講演「サニテーション価値連鎖-水・衛生分野の SDGs 達成のために」

船水 尚行 (日本学術会議連携会員, 北海道大学大学院工学研究院教授)

14:40~15:10 講演「全ての人に健康と福祉を一肥満化、体力低下時代を生きる子どもたち」

山内 太郎 (北海道大学大学院保健科学研究院教授)

15:10~15:20 休憩

15:20~15:50 講演「住み続けたいまちとコミュニティを目指して」

森 傑 (北海道大学大学院工学研究院教授)

15:50~16:20 講演「生物多様性の保全と RCE 北海道道央圏の活動」

金子 正美 (酪農学園大学農食環境学群環境共生学類教授, 国連大学 RCE 北海道道央圏代表)

16:20~16:55 総合討論, 質疑応答

座長:山中 康裕 (日本学術会議連携会員, 北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

16:55~17:00 閉会の挨拶

山中 康裕 (日本学術会議連携会員, 北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

**申し込み方法**:電話、FAX または電子メールで以下までお申し込みください。

日本学術会議北海道地区会議事務局 (北海道大学研究推進部研究振興企画課)

TEL: 011-706-2155 FAX: 011-706-4873 E-mail: suishin@general.hokudai.ac.jp

URL : http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html

### お問い合わせ先

所属・職・氏名:北海道大学研究推進部研究振興企画課総務担当 係長 柴田 珠江(しばた たまえ)

TEL: 011-706-2155 FAX: 011-706-4873 E-mail: suishin@general.hokudai.ac.jp

### 抱えるSDGsの課題であ SDGsは、 行っている世界各地及び道内での活動状況を紹介し、 本講演会ではSDGsの概要、SDGsへの貢献として北海道地区の高等教育機関 る。日本(特に北海道)が世界に先駆けて直面する、 らには、発展途上国のみならず、 な開発について考えていただく機会としたい 海道内のみならず、世界各地の発展途上国でSDGsの教育研究活動を行っている。 採択された。北海道大学を始めとする北海道地区の高等教育機関においても、 (Sustainable Development Goals(以下、「SDGs」という。))が国連総会において 0 1 5 17の開発目標のもとに、具体的な169のターゲットを掲げており、 年9 月、 2030年に向けた地球を守るための持続 、先進国における諸課題を解決することを掲げてい 2017年 少子高齢化問題等も先進国 、地球を守るための持続可 13:30~17:00 可 能な開発目標 北海道大学 学術交流会館

#### ■ プログラム

挨 拶 13:30~13:35

小講堂(札幌市北区北8条西5丁目)

上田 一郎(日本学術会議会員、日本学術会議北海道地区会議代表幹事、北海道大学理事・副学長)

演「SDGsと日本学術会議ー貧困・平等、FE、防災・減災をめぐって」 13:35~14:10

> 大西 隆(日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授)

演「サニテーション価値連鎖ー水・衛生分野のSDGs達成のために」 14:10~14:40

尚行(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院工学研究院教授)

演「全ての人に健康と福祉を一肥満化、体力低下時代を生きる子どもたち」 14:40~15:10

> 山内 太郎(北海道大学大学院保健科学研究院教授)

休 憩 15:10~15:20

講 演「住み続けたいまちとコミュニティを目指して」 15:20~15:50

傑(北海道大学大学院工学研究院教授)

演「生物多様性の保全とRCE北海道道央圏の活動」  $15:50 \sim 16:20$ 

正美(酪農学園大学農食環境学群環境共生学類教授、国連大学RCE北海道道央圏代表)

総合討論、質疑応答 16:20~16:55

座長:山中 康裕(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

拶 挨 16:55~17:00

康裕(日本学術会議連携会員、北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

#### ■ 参加申込・お問い合わせ先

#### 日本学術会議北海道地区会議事務局

(北海道大学 研究推進部 研究振興企画課)

Tel: 011-706-2155-2166/Fax: 011-706-4873

e-mail: suishin \* general.hokudai.ac.jp

(上記mailアドレスの\*マークを@に変えてお送りください。)

電話、FAXまたは電子メールで2月6日(月)までに上記へお申し込み下さい。(当日受付も可)

#### ■主 催

日本学術会議北海道地区会議、北海道大学



■会場:北海道大学学術交流会館小講堂(駐車場はありませんので、公共交通 機関をご利用下さい。)

# 学術講演会〈参加申込書〉

# 持続可能な世界にむけて、国連が採択した目標(SDGs)に 貢献する北海道の知

フリガナ		
お名前		
会社・機関名		
所属部署・職名		
連絡先	住所	〒 −
	TEL	( )
	E-mail	@

# FAX 011 - 706 - 4873

(平成29年2月6日(月)までに送信して下さい。)

### 参加申込・お問い合わせ先

日本学術会議北海道地区会議事務局 (北海道大学 研究推進部 研究振興企画課)

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL: 011-706-2155 · 2166

FAX: 011-706-4873

E-mail: suishin\*general.hokudai.ac.jp (上記mailアドレスの\*マークを@に変えてお送りください。)

<sup>\*</sup> お申し込みいただいた方々の個人情報については同意なしに第三者に開示・提供することはありません(法令などにより 開示を求められた場合を除く)。